

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Harmonyオー！（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 16日		～ 2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 16日		～ 2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様が安心して利用することができ、年齢や特性に合わせた専門性のある支援の提供を行えています。	・支援前には朝礼、支援後には夕礼等を行い職員でご利用者様に合わせた活動・支援の提供方法や対応方法について話し合い・共有を行っております。	・引き続きご利用者様のニーズ把握と職員での話し合いを行い、継続的に質の高い支援を提供できるよう努めてまいります。
2			
3			
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の方々との交流や、保護者様同士の交流できる機会の提供ができておりません。	・ご利用者様のご様子や特性等を考慮し、安全な活動提供を行うことのみを意識してしまっておりました。	・ご利用者様の特性もあるため(環境の変化に難しいご利用者様もいるため)、最初から地域の方々との交流等では無く、同法人内の別事業所の職員やご利用者様との交流から検討して参ります。
2			
3			

保護者向け 児童発達支援事業所評価表（集計結果公表）

一般社団法人青葉の杜 Harmonyオー！

配布：4枚 回収：4枚 回収率：100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	わからない	無回答	合計		ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	1	0	0	0	0	4		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	0	0	2	0	0	4	・職員さんの入れ替わりの多さや終わったイベントのポスターを貼っている。だいぶ昔の日付のまま…など職員さんの人数は足りているのか、前の方からの申し送りはされているのか不安になってきます。去年と比較しての評価になります。	・ご意見ありがとうございます。不安なお気持ちにさせてしまい大変申し訳ございませんでした。職員の取得している資格や経験年数等の兼ね合いもあり職員さんの入れ替わりが多くなってしまい大変申し訳ございません。入れ替わりがあった際にはご利用者様のご様子や特性など引継ぎ・共有しているため変わらず丁寧な支援を心掛けて参ります。掲示物や日付等に関しましてはこちらの確認不足となっております。大変申し訳ございませんでした。今後は職員で共有し不備が無いよう徹底して参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境 i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	0	0	0	0	4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0	0	0	4		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	4	0	0	0	0	0	4		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	0	0	0	4		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	0	1	0	0	4		
	8 活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか	3	0	0	1	0	0	4		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	0	2	0	0	0	4		・環境の変化に対応することが難しいご利用者様もいらっしゃるため、今後ご要望がございましたら事業所内でも検討して参ります。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0	0	0	4		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4	0	0	0	0	0	4		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング iv 等）が行われているか	2	0	2	0	0	0	4		

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3	0	0	1	0	4	・職員の方の入れ替え(?)が頻繁な気がします。信頼していた先生が異動になったり、お知らせないままいなくなっていたり…。	・ご意見ありがとうございます。職員の取得している資格や経験年数等の兼ね合いもあり職員の入れ替わりが多くなってしまい大変申し訳ございません。上記のような兼ね合いにより急な異動等があった場合など、保護者様やご利用者様へ直接のご挨拶が難しい場合もございます。異動等がある場合には出来る限り、職員より直接ご挨拶ができるようにして参ります。直接のご挨拶が難しい場合にはLINE等でお伝えとなってしまう場面もあるかと思っております。ご理解の程、よろしく願いいたします。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0	0	0	4			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	3	0	0	0	4		・ご意見ありがとうございます。今後ご要望がございましたら事業所内でも検討して参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	0	0	1	0	0	4		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	0	0	1	0	0	4		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	0	0	1	0	0	4		・Harmonyのホームページにてブログや毎月配布させて頂いている行事予定表、また以前の評価表の集計結果を公開しております。更新がありましたら申し送り等でお伝えさせていただきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4	0	0	0	0	0	4		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4	0	0	0	0	0	4		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	0	0	0	4		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0	0	0	4		
	23	事業所の支援に満足しているか	3	0	1	0	0	0	4		・今後もご利用者様には楽しんでもらえるような活動を提供し、保護者様にもご満足していただけるような支援を心掛けて参ります。

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

事業者向け 児童発達支援事業所評価表（集計結果公表）

一般社団法人青葉の杜 Harmonyオー！

配布：9枚 回収：9枚 回収率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	合計	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0	0	9	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	1	0	9	・児童1名につき職員1名での対応が望ましい。児童が集中して取り組める活動を用意したい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	0	0	9	・夏場の玄関は二オイがこもりがちなので芳香剤を常備していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	0	0	9	・運動活動やゲームをする際は広いプレイルームへ移動し楽しめるようにしている。
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	0	0	0	9	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	0	9	・保護者様の評価表の結果を受け事業所内で共有、把握し、改善案については検討しHPへ掲載。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	0	0	9	・保護者様への評価表の依頼をする際の文面にもHPへの掲載をお伝えし、実施している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	3	0	9	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	1	0	9	・初任者研修をはじめ、内部研修、外部研修をしている。 ・研修の機会があれば参加したい。
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	0	0	9	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	0	0	9	・5領域に添いながら発達段階や特性に応じた計画を作成している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	0	0	9	・ガイドラインに添った本人支援、移行支援、家族支援等の項目にそれぞれ子どもの成長に繋がる支援を記載し、客観的に把握し共有した支援内容となっている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	0	0	9	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	0	9	・月の活動決め等、事業所内全体で話し合いをしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	0	9	・担当されたスタッフが年齢やお子様に合わせて活動を創意工夫している。 ・職員間で話し合い毎月の活動を考えている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9	0	0	0	9	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	0	0	9	・朝礼、夕礼を行い確認しています。 ・朝礼の際に確認し合っている。 ・朝礼でご利用者様の様子だけではなく活動中の注意点なども共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	0	9	・夕礼を行い、休みの職員にも後日情報を共有できるようノートへまとめています。 ・夕礼の際に支援活動の取り組み、様子等を共有し合っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	0	9	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	0	9		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0	0	9	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	0	0	0	9	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	0	3	1	9	・対象児がいない。 ・医療的ケア等の児童がいない。 ・医ケア児の利用が無い。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	0	2	1	9	・対象児がいない。 ・医療的ケア等の児童がいない。 ・医ケア児の利用が無い。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	0	0	9	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	1	0	9	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	1	0	9	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	9	0	9	・今後検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	2	1	9	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	0	9	・ご利用時の申し送りノートへ記入し情報共有、共通理解に繋げている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	0	7	0	9	・相談があれば助言を行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0	0	9	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	0	0	9	・児童発達支援管理責任者が業務を担っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	0	0	9	・ご相談があった際にはお聞きし、助言、支援に取り入れ、その様子をお伝えしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	0	7	0	9	・今後検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	0	9	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0	0	9	・毎月と長期休暇、活動内容によってご家庭に配布している。 ・ブログにて発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	0	0	9	・書庫鍵付きにて保管、管理している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	0	9	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	0	7	1	9	・事業所同士の交流は多めだが、地域交流は難しいと感じる。(環境の変化に対応するのが難しい児童もいる為) ・今後検討していく。
	非常時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	0	0	9
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0	0	9	・1年に2回避難訓練を実施しています。 ・地震、火災、年2回の訓練を実施している。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	0	0	9	・ご様子シートの活用と服薬の方には直近の薬情の提出をお願いしている。てんかんのお子様は丁寧な聞き取りをしスタッフ間で共有している。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	0	0	9	

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0	0	9	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	0	9	・全体会議や事業所間で会議を実施し必要に応じては個別に聞き取りや確認をしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0	0	0	9	・お子様の特性を双方で共通認識のもと説明、ご理解頂いた上での記載することとしている。現在身体拘束に繋がる児童は該当しない。